

「青春18切符・日帰り大旅行(5)」

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所

田中 千尋 Chihiro Tanaka

私は子どもの頃から「時刻表」が好きで、小学生の時も書店で母にねだって時刻表を買ってもらってました。意外と廃棄せずに保管してあって、現在でも各年代のものが合計20冊ぐらいあります。

大正十四年三月十二日改正 同年四月一日前補		東 京															
線名	駅名	里程	時刻														
			75	1	21	103	503	25	505	107	507	833	77	193			
東海 道本 線	東京	0.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	日根及	4.45	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	日根及	4.57	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	日根及	5.24	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
横須 賀線	東京	0.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	横須賀	5.30	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	横須賀	5.40	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	横須賀	5.50	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
東海 道本 線	東京	0.0	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	日根及	5.57	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	日根及	6.06	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
	日根及	6.13	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...



これは社会人になってから買った、大正14年の時刻表「汽車時間表」です。「鉄道省運輸局編集」と仰々しく書いてあるので、官製の時刻表ということになります。価格は50銭。当時うどん1杯が8銭という記録が残っているので、結構な値段だったようです。



この時刻表の鉄道路線図を見ると、国府津～小田原～熱海の「熱海線」は開通していますが、熱海で行き止まりです。東海道本線は箱根を北に迂回する、現在の御殿場線だったこともわかります。面白いのは、現在とちがって三島駅も経由していたことでしょう。赤字でページ数がわかるのは今の時刻表と同じです。

東海道線のページを見ると、東京発下関行の一等車を連結した特急列車も、現在の御殿場線経由とわかります。その特急列車も、機関車増結や石炭・水の補給などで、国府津駅、山北駅には必ず停車していました。

そんな華やかな時代があった御殿場線も、昭和9年の丹那トンネルの開通で、東海道本線は熱海経由になり、一ローカル線に格下げされました。更にその後太平洋戦争中に「不要不急線」の扱いを受け、廃止こそ免れたものの、複線だった路線は単線になり、レールは軍事上の重要路線(たとえば横須賀線)や、軍需用の鉄鋼原料として接收されました。



御殿場線は、戦後も複線に戻されることはありませんでした。現在でも御殿場線車窓からは、軌道敷や鉄橋土台など複線時代の面影を見ることができます。